サン電子株式会社
PRESS RELEASE

2017年3月7日

【報道関係各位】

Jクラブを活用した新たな地方創生モデル！！
水戸ホーリーホック×サン電子×キヤノンマーケティングジャパンと、茨城大学による
IoTを活用した農業分野における共同プロジェクト
「ホーリーホック スマートアグリプロジェクト™」のお知らせ

サン電子株式会社（本社：愛知県江南市、代表取締役社長／山口 正則）と株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック（ホームタウン：茨城県水戸市、代表取締役社長／沼田 邦郎）、キヤノンマーケティングジャパン株式会社（東京都港区、代表取締役社長／坂田 正弘）、国立大学法人茨城大学（茨城県水戸市、学長／三村 信男）はこのたび、「プロスポーツクラブを活用した地方創生事業における、茨城県とベトナムの国際交流及び農業支援提携」、「IoT技術を採用した、新たなIT農業（スマートアグリ）ビジネススキームを国内外で展開」を目的とするIT農業プロジェクト、「ホーリーホック スマートアグリプロジェクト™」を下記の通りお知らせいたします。
報道関係の皆様におかれましては、本件の取材にご協力いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

【「ホーリーホック スマートアグリプロジェクト™」　概要】
Jリーグ・アジア戦略を進める水戸ホーリーホックは、この度、IoT/M2MルータRooster（ルースター）」（※1）製品が国内3rdパーティ通信BOX市場5年連続シェアNo.1（※2）のIT企業でクラブのサポートシップカンパニー、サン電子株式会社と、Jリーグトップパートナーであり、キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティングを行う、キヤノンマーケティグジャパン株式会社と連携し、「プロスポーツクラブを活用した地方創生モデル事業における、茨城県とベトナムの国際交流及び農業支援提携」、「IoT技術を採用した新たなIT農業（スマートアグリ）ビジネススキームを国内外で展開」などを目的とする共同プロジェクト、「ホーリーホック スマートアグリプロジェクト™」推進パートナーを締結。また、2013年より水戸ホーリーホックと連携協定を結ぶ国立大学法人茨城大学も本プロジェクトに参画し、次世代に向けた新技術の創出や産業競争力の向上による地域活性にも貢献。産学連携としても推進していく。今後は、海外(ベトナム)でのスマートアグリ導入に向けたモニタリングを、茨城大学農学部附属フィールドサイ

エンス教育研究センターで実施検証し、各種センサから取得したデータを活用して応用技術などにおよぶ広範囲な共同研究を行っていく。まず 2017 年度は、「農業分野における IoT 遠隔監視システム(サン電子)やキヤノンのネットワークカメラなどのセンサに関する実証実験を行い、以降も革新的なテーマを設定して、戦略的な共同プロジェクトを実行していく。なお、本プロジェクトは、J クラブである水戸ホーリーホックがプロスポーツクラブの領域を越えて地域に根ざしながら、グローバル規模の企業や大学と進める新たなビジネスモデルであり、地方創生にも繋がるプロジェクトとして産学官連携の下に推進していく。

【会社概要】
■サン電子株式会社
設立：1971 年 4 月
資本金：992 百万円（2016 年 3 月 31 日現在）
上場取引所：東京証券取引所 JASDAQ（証券コード 6736）
代表者：代表取締役社長／山口 正則
本社：愛知県江南市古知野町朝日 250
従業員：連結：932 名　単体：357 名（2016 年 3 月 31 日現在）
事業内容：M2M 事業、モバイルデータソリューション事業、ゲームコンテンツ事業、エンターテインメント事業
「情報通信関連事業とエンターテインメント関連事業を 2 本柱とする IT 機器メーカーです。産業用向け IoT プラットフォームや科学捜査用機器、その他電子基板やゲームコンテンツなどハードウエアとソフトウエアの双方の技術を蓄積しています。これらの技術を活かし、IoT/M2M 機器や AR などの最先端技術を活かした高品質なトータルソリューションの提供してまいります」

■株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック
設立：1994 年 2 月
ホームタウン：茨城県水戸市
ホームスタジアム：ケーズデンキスタジアム水戸（茨城県水戸市)
資本金：8,400 万円 (2016 年 1 月期)
代表者：代表取締役社長／沼田 邦郎
本社：茨城県水戸市笠原町 136-1
クラブ概要：水戸ホーリーホックは、茨城県水戸市をホームタウンし推進協議会として水戸市を含む周辺の 9 市町村が加盟するプロサッカークラブで J2 リーグに所属する。
「水戸ホーリーホックは夢と感動と一体感の共有に向けて地域に根ざし、地域と歩み、地域に貢献し、地域とともに発展します」

■キヤノンマーケティングジャパン株式会社
設立：1968 年 2 月
資本金：73,303 百万円
上場取引所：東京証券取引所第一部（証券コード 8060）
代表者：代表取締役社長／坂田 正弘
本社：東京都港区港南 2-16-6
従業員：連結：18,214 名 単独：5,159 名 （2016 年 4 月 1 日現在）
事業内容：キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング
「キヤノングループは、グローバル企業として世界中で幅広い事業を展開しています。その一員として、日本国内を中心にマーケティング活動やソリューション提案を担っているのが、キヤノンマーケティングジャパングループです。私たちは、社員一人ひとりがお客さまに最も近い存在として、「顧客主語」と「ものづくりへの参画」を実践し、お客さまの価値を最大化するお手伝いをしていきます」

【大学概要】
■国立大学法人茨城大学
創立：1949 年
本部：茨城県水戸市文京二丁目 1-1（水戸キャンパス）
代表者：学長／三村 信男
概要：人文（2017 年 4 月からは人文社会科学部）・教育・理・工・農の 5 学部と、人文（2017 年 4 月からは人文社会科学研究科）・教育・理工・農の大学院研究科を有し、学部学生 7,200 名、大学院生 1,100 名が学ぶ総合大学。「地域創生の知の拠点となる大学、その中で世界的な強み・特色の輝く大学」の構築を目指している。水戸ホーリーホックとは、2013 年 3 月 3 日に連携協定を締結した。

以上

※1．Rooster（ルースター）とは
サン電子株式会社が提供する、M2M ネットワークへつながるゲートウェイ、ルータ、アダプタなどの製品総称です。
通信モジュール搭載のルータや、通信アダプタセット、リナックスゲートウェイなどのシリーズで展開。
BEMS、太陽光パネルなどエネルギー監視システムや、自動販売機などの中に組み込まれ、課金データや在庫データをセンターへアップロードする等、M2M ソリューションの分野で広くご利用いただいております。

※2．出典：2017 年発行　テクノ・システム・リサーチ「国内モバイル IoT/M2M 市場動向調査（2016 年版）」

サン電子株式会社
PRESS RELEASE

【関連 URL】

本ニュースリリース URL

http://www.sun-denshi.co.jp/sc/press/newsrelease/170307_smart.html

M2M 通信機器 Rooster の商品 URL

http://www.sun-denshi.co.jp/sc/

産業用向け IoT プラットフォーム「Bacsoft IoT Platform」 関連 URL

http://www.sun-denshi.co.jp/sc/bacsoft/

※ 「Rooster」はサン電子の登録商標です。

※ その他、記載されている社名、製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。

【報道関係各位のお問合せ先】

サン電子株式会社 M2M 事業部 営業部

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町 3 番地

富士ソフト秋葉原ビル 11 階

TEL：03-3525-8165 FAX：03-5289-7490